

監督および競技者に対する注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2009年（財）日本陸上競技連盟競技規則および同駅伝競走基準、並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 出場選手について

- (1) 正式オーダーは、学校受付時に提出する。(13:30完了)
- (2) 正式オーダー提出後の選手変更は、病気・不慮の事故の場合であり、委員長会議で決定する。なお、選手変更が認められた場合は、補欠をその区間の交代として補充するものとする。

3. 競技運営について

- (1) 選手は、所定のナンバーカードをユニホームの胸背部に確実に取り付ける。
- (2) たすきは主催者で準備する。学校受付時に受け取り、競技終了後、各府県委員長に返却する。
- (3) レース中に、走者が不慮の事故にて競技を中止した場合は、駅伝競走基準により次区から次走者を出発させる。この場合の出発時期は、最後尾走者の1分後とする。
- (4) たすきは、肩から脇の下にかけなければならない。かけていない場合は失格になることがある。ただし、中継時については、できるだけ遅い時点ではずし、できるだけ早い時期にかける。
- (5) 伴走および飲食物の提供、補給などの援助はできない。疑わしい行為があった場合は失格になることがある。
- (6) 中継にてたすきを渡し終えた選手は、役員の指示にしたがってすみやかに走路外に出ること。
- (7) 出発は2列とし、レーン順は学校受付時に公正に抽選する。
- (8) 出発は、次のように合図する。

予 告：10分前 5分前 1分前

秒読み：30秒前 20秒前 10秒前

【10秒前で『位置について』をかけ、選手は『用意』の姿勢をとる】

- (9) 出発については、5分前に集合線に並び、2分前に競技服装になり、1分前に出発線に並ぶ。
- (10) 中継所でのたすき受け渡しは、中継線の前方20m以内とする。
- (11) 走者の衣類は、所定の袋に入れ中継所附近の指定された場所に置く。
- (12) レース中の事故については、応急処置は行うが、主催者は責任を負わない。
- (13) アップ場所については、次の通りとする。(指定場所以外でのアップは認めない。)

* 競技前：主競技場およびコース、補助競技場。

* 競技中：コース以外の場所。(主競技場は不可)

- ・ 補助競技場でのアップは認めるが、コースを横切る際には役員の指示に従い、競技運営に支障がないよう注意すること。

4. 競技者の招集時刻と場所について

招集・点呼は雨天練習場とする。選手は、ナンバーカードの確認を受けた後、役員の誘導によって中継所に移動する。

【女子】

中継所	点呼時刻	中継予想時刻
第1区走者	10:10	10:30
第2区走者	10:20	10:40
第3区走者	10:25	10:47
第4区走者	10:30	10:54
第5区走者	10:40	11:00

【男子】

中継所	点呼時刻	中継予想時刻
第1区走者	11:25	11:45
第2区走者	11:40	12:00
第3区走者	11:50	12:09
第4区走者	12:00	12:21
第5区走者	12:15	12:33
第6区走者	12:20	12:42

5. その他

- (1) 選手の待機場所については、主競技場スタンド及び競技場外側備蓄庫前プラットホームとするが、主競技場外側はアナウンスが聞こえないため注意すること。
なお、更衣室は更衣のみ使用を認める。(待機場所としての長時間滞在は禁止する)
- (2) 選手・応援者は、直前直後の横断やコースへのはみ出し等、競技の妨げになるような行為を厳に慎むこと。
- (3) 競技場内には、役員・監督・選手・補助員以外は入ることはできない。
- (4) ハンドマイクの使用は禁止する。また、トランシーバーの使用についても、競技運営に支障のないよう留意すること。
- (5) 総合記録は、閉会式後、監督章と引き替えに1部配布する。
- (6) 横断幕の設置は、競技場内スタンドのみとし、前日(12月5日)から設置してもかまわない。また、その日ごとに撤去する必要はない。
- (7) 「のぼり」の固定は、バックスタンドのみとする。「のぼり」を持つ場合は、必ず応援者が手に持つこと。また、旗等がコースにはみ出し、走者の邪魔にならないよう十分注意すること。